

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念カードを職員がそれぞれにいつでも確認出来るように携帯している。また事業所内にも掲示することで確認しながらケアの実践に活かしている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間行事予定を立て日々生活の中で地域に外出するようにしている。地域の方にも声をかけていただき、地域で行われるイベントにも参加し地域の方々との繋がりが保てるよう努めている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	母体が病院の事業所であるため、重度化しても受け入れが出来るよう母体病院との連携を図っている。職員も研修参加し自己研鑽に努め、地域の方が相談しやすいようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の定期的な運営推進会議を開催している。ホーム内での活動状況や利用状況を報告し、多数の意見を頂きながらサービス向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	メールや電話を利用し相談、報告を行い指導を仰いでいる。また必要時は直接市へ足を運び情報交換を行っている。活動報告に関しては運営推進会議の場を利用し行っている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止について委員を中心に年間計画を立て毎月話し合いを行い防止に取り組んでいる。また事業所内で勉強会を開催し、目的や禁止事項など正しい理解と知識が継続出来るように取り組み全職員へ周知を図っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については委員を中心に年間計画を立て毎月話し合いを行い防止に取り組んでいる。事業所内での勉強会を開催し、また虐待についての正しい知識を学び日頃から虐待の早期発見に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	計画作成担当者や各委員を中心にケアの在り方や家族との関係性についても話し合いの場を設けるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	介護報酬改定等、法の改定時は契約書の内容も併せて改訂し本人及び家族へも説明を行った上で契約を交わしている。また、説明を行ったうえで質問へも一つ一つ答え納得・理解出来るよう配慮している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	イベント時や面会時といった家族と接する機会を有効活用し、声掛けを行い意見が出せるようにしている。連絡帳やミーティング時といった職員が集まる機会に情報共有し、利用者及び家族の意見を伝達している		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設運営において設備、人員配置といった様々な意見をミーティングや管理者へ直接相談していくことで職員意見を反映する場としている。また職員は自由に代表者へ意見を記入し提出出来るような仕組みがある		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の増員はなかなか改善出来ない現状ではあるが、職員のモチベーションに留意しながら勤務調整等にも配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での研修や外部への研修案内といった情報収集を幅広く行い、職員が自分の能力や経験年数に見合った研修へ参加しステップアップに繋げている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区介護事業所協議会へ加入しており、協議会が開催する研修へも積極的に参加する事で、ネットワークを活用した上でのスキルアップにつなげている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に本人への情報収集を行い、今まで大切にしてきた生活歴やこだわりといったさまざまな要望等の聴取をし、計画作成担当者を中心として職員へ伝達行い関係づくりに努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に家族へも同様にアプローチを図り意向や情報収集といった様々な事を聴取している。またサービス担当者会議時を活用し再度要望の追加等ないかの声掛けも行っている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用前に本人の情報収集を行いサービス提供を行っている。本人の心身状況を見極め必要時には家族や必要機関とも直接連携をとり早急な対応を行うように努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の一人一人の能力と意欲を見極めながら畑づくりや収穫、料理作り、洗濯物たたみなど共に行えるように工夫している。共に行うことで生活の喜びを共有している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来られた際ゆつくりと過ごしていただけるよう空間づくりに努めている。花見や敬老会等イベントの際は参加案内のお知らせを渡している。行事等を中心に本人と家族の関係が続けられるように努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	重度化している利用者も多く車椅子対象者も多いが、地域の方々と交流が図れるよう支援している。家族に限らず友人等の面会も快く受け入れ、訪ねやすい雰囲気作りに配慮している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーションやイベントを開催し利用者同士が関われる機会を作りコミュニケーション支援を行っている。利用者間の関係性を考慮し、レクリエーション、イベント、食事等の配置を決めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在退去を希望されている方はいないが、心身の状況を踏まえ必要なサービスへと繋げられるよう支援相談の準備を行っている。契約終了後は法人内の他部署との連携を図りサービス継続のご家族の希望に沿って再入居の受け付けや相談に応じている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人やご家族との話で本人が好きなき事をレクリエーションに取り入れ過ぎて頂く。利用者の思いを受け止め会話の傾聴に努め意向の確認を行うようにしている。本人の言葉や表情、生活歴を参考にして気持ちを汲みとるようにしている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報収集や入居後は利用者やご家族や他部署と収集を行い、介護入力システムやケア指示簿に記入し、職員同士情報共有を図りより良いサービス提供にいかせるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々接する中で、心身の状況を把握し介護システムへ入力している。入力した内容をもとに情報共有に繋げている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の心身の状況を踏まえた上で、利用者や家族、職員より意見を聞き介護計画書の作成を行っている。モニタリングを実施し介護サービス計画書の変更を行いサービスの提供を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアについては介護システムに入力し全職員が閲覧でき情報共有に繋げている。毎月のユニットミーティングの中でもケアの統一や方向性についての検討を行い統一した実践が出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者様の状況に応じ協力医療機関、訪問看護、在宅医とも連携を行い日々の支援にあたっている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>実習生やボランティアの受け入れを行い運営をしている。これまでの地域との関わり、しがらみについて事前に本人、家族から情報収集し外出を中心に本人の楽しみが続けられるように支援している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の意見を基に必要な医療が受けられるよう支援している。受診時は職員の同行を基本に情報交換を行い適切な支援が頂けるようにしている。家族が同行可能な場合は、医師家族事業所で情報共有を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関である訪問看護ステーションことぶきへシステムを活用し毎週1回情報交換を行い、必要時には訪問をしてもらい相談、指導を受けている。必要時は早期受診に繋がっている。法人内の看護師とも24時間連携がとれるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院が必要になった際、入居時の様子をサマリーや情報シートにまとめ情報提供を行っている。法人内では医療相談員を通じて入院中の情報把握に努め退院後の支援についても情報提供を受けれるよう書面で頂くようにしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時、利用者様や家族に対して書面にて方針を説明し緊急時の場合を含め意思確認を行い同意を得ている。入居後身体状態に応じて主治医、訪問看護師へ相談し家族を含めカンファレンス等を行い情報共有しケアを行っている</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年1名の職員が研修に参加しその職員を中心に急変時や事故発生時に備えて心肺蘇生法並びにAED操作キッドを利用し年2回全職員を対象に勉強会を実施している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日勤帯夜勤帯想定のもと、利用者にも参加協力して頂き、避難訓練を年に数回行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃のケアの中において入浴介助や排泄介助時、羞恥心への対応等プライバシーに配慮した空間作りやケアに取り組んでいる。委員が中心となり言葉かけ等の勉強会を実施。尊厳を保ちながら日々ケアを行っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様からの訴えがある場合傾聴に心がけ意思の表出が行えるようにしている。利用者様が自己決定出来るように工夫し声かけを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その日の利用者様の体調や病状を考慮したうえで生活リズムを大切に必要に応じたケアの提供、支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様個々の好み把握に努めている。衣類交換の際、自ら選べるように支援を行っている。本人様の意向を確認の上、散髪業者を選んでもらい出張サービスを活用し整髪している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人の管理栄養士が作成した献立をもとに栄養価を考慮し提供している。間食やイベント時は利用者様と共に楽しく調理を行い季節の変化を感じてもらえるような取り組みを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立を作成し栄養バランスを考慮した食事の提供を行っている。形態についても個々の利用者の嚥下状態に合わせている。摂取状況等を評価し職員も相談が行える体制がある。食事間食の飲水量、日々の摂取状況はシステム入力し職員が確認できるよう管理している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に応じた口腔ケア用品を使用し毎食後口腔ケアを実施している。口腔内トラブルが発生した場合、本人家族の意向を確認し歯科受診支援を行っている。また定期的に歯科医師が事業所に来られ検診を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し排泄の失敗がないように定期的にトイレ誘導を行い、排泄状況を確認し水分量の調整を行うよう努めている。個々の排泄用品を他職種と連携をとりながら使用量を減らせるよう努めている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便状況を把握している。なるべく下剤を使用しないよう飲水の促し、センナ茶などの漢方の使用、腹部マッサージなどの対応を行っている。便秘が改善しない方には医師に相談を行い下剤の調整を行いながら便秘の改善に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に3回は入浴が行えるよう支援し清潔保持に努めている。入浴拒否のある利用者にはタイミングをみて声掛けを実施しながら気持ちよく入浴できるように支援している。個々の体調に気をつけ清拭等で代替支援を行う場合もある		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の心身の状況にあわせて昼寝を促す声掛けを行ったりソファで過ごしていただくなど対応を行っている。寝具調整、シーツ交換、室温調整又本人の好みの寝具用品を使用し気持ちよく眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院から処方された薬の説明書を確認し不明な点は医師、薬剤師に問い合わせを行い確認の上服用して頂いている。職員全員に伝わるようシステム入力、参照し情報共有を行っている。薬の効果や副作用等について定期的に限らず医師に相談を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自宅での生活歴を把握の上話題作り、作業に取り入れている。毎月季節の行事、外出を企画し、楽しみをもって過ごしていただけるよう努めている。グループホーム周辺の散策等も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調を考慮し外出や外での活動を行っている。病院受診、ドライブ、外食等外へ出る機会を作っている。また担当職員と利用者でゆっくりと散歩を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	各利用者から現金を預かり、利用者やご家族の意向を確認し必要な品物の購入にお金を使っている。また定期的にご家族の方の確認を頂いている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	本人の意向を尊重しご家族や知り合いからの電話は直接本人が会話出来るよう支援している。毎月、家族へは手紙と写真を同封し近況をお知らせしている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	毎日清掃を行い清潔で気持ち良い空間作りをしている。リビングは明るく季節に合わせた壁画を毎月作成、展示している。室温は職員が管理し、利用者へも確認をしながら快適に過ごせるよう支援している		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	一人ひとりの対人関係に配慮した座席の配置の工夫や自由にテレビ視聴出来るように配慮している。利用者様の意向を伺いホールや居室など過ごしたい場所へお連れしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族の意向を伺いながら使い慣れた物等は持参していただき、本人の好みに合わせて居室を居心地良く過ごせるように整えている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はほぼすべてに手すりを設置し部屋の入り口の名前表記やトイレ、風呂場入口も分かりやすいように表示しスムーズに生活が送れるよう工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない